夕刊
八月六日發行
定價一ヶ月金六拾錢（郵稅共五錢）
廣告料金　一段一行金六拾錢　五段以上一行金五拾錢
發行所　磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

或る女

姉崎雄之

その四

因縁といふことをよく人は云ふ、その度に此の世の中に因縁だの前世の約束だのといふものがあるものか科學的に解釋の出來ないものは迷信だと一概にコキ卸すのが私の常であつた。だい驚きと一種の懷かしい興がこゝに語らうとする女の急死とその前後のイキサツを考へるとこれが人のいふ因縁かナーと思はれて平常の氣焔も出なくなる

震災の翌年の初夏の頃私は母校から命ぜられて罹災者救護の爲めに出來た東京市の臨時病院に勤務してゐた。或る日の受診者の中に一人の娘があつた、二十二三顏は大したことはないが肉付のよい曲線美の女であつた。しかし病氣は扁平コンデローマといふ微毒性の惡疾であつた。その日は適當の處置を加へてやり、後で病氣の性質上是非サルバルサンの注射の必要がある旨を申渡して歸してやつた翌日彼女は又來た、注射を願ひ度いとのことであつたので昨日と同じ處置の後注射することゝなつたが、注射係と助手の手がおかなかつたのか手荒くソコに待たしておいた。彼女は親しげの眼付きで私の顏を覗きこんだのが『失禮ですけれど先生は目白の方にお住居でございますか』ときいた、下町にある此病院の患者から山手を業とする女である、そしてこの人がかつて自分を見たといひ覺えてゐて呉れるとなるど滿更不快な氣持も起らないので對話はいよ〳〵興が乘つて知らず識らず彼女の身の上をきくことになつた。彼女はモデル

だ二十ソコ〳〵の豐滿な娘さん、その人がかつて自分を見たといひ覺えてゐて呉れるとなるど滿更不快な氣持も起らないので對話はいよ〳〵興が乘つて知らず識らず彼女の身の上をきくことになつた。彼女はモデル

旋屋宮崎の手によつてアチラコチラの畫家や彫刻家のアトリエに仕事に出かけるのであつた。目白驛の出入口を矢張りそのためであると語つた

とかくする内に彼女の注射の順位が來たので注射室へと急いで消えていつたが白な顏をして慌たゞしく飛んで來て、急に容態が變つたから診て呉れとのことに急いでかけつけて見ると、如何にも只ならぬ樣子である、直ちに院内總動員してあらゆる手當を加へたが遂にその効なくして鬼籍に入

先生は目白の方にお住居でございますか』ときいた、下町にある此病院の患者から山手を業とする女である、そしてこの人がかつて自分を見たといひ覺えてゐて呉れるとなるど滿更不快な氣持も起らないので對話はいよ〳〵興が乘つて知らず識らず彼女の身の上をきくことになつた。彼女はモデル

旋屋宮崎の手によつてアチラコチラの畫家や彫刻家のアトリエに仕事に出かけるのであつた。目白驛の出入口を矢張りそのためであると語つた

とかくする内に彼女の注射の順位が來たので注射室へと急いで消えていつたが白な顏をして慌たゞしく飛んで來て、急に容態が變つたから診て呉れとのことに急いでかけつけて見ると、如何にも只ならぬ樣子である、直ちに院内總動員してあらゆる手當を加へたが遂にその効なくして鬼籍に入

私も愈々何となく懷しさを感じた、假令病氣は好ましからぬものとはいへ、まに

入山の今昔を語る會

（一）

日時、場所　此程のある夜入山臺の山社務所

出席者　小山出人事係長、松繁自治會長、植松、常原、荒谷、根本、飯島、小松、鯨岡、星、先崎、秋山、早立、小林、石上、庄司諸氏

小山田　皆さんお晩で御座います。お疲れのところを御苦勞樣でした、御案内申上げました通り、今日は當炭鑛一永年御勤め下さいました皆さんと堂に會して、入山の昔と今の色々違つた點やい感想やらを御聞きする爲めであります。實は本日發行の自治會報　特別の讀み物として讀んでいたゞく積りですから堅苦しくなく極く輕い氣分でお話下さい。デ私が御話の進行係として話題を出して、皆さんの經驗談や思ひ出話を御伺ひ出來ますれば結構であります。

第一昔の從業員の氣風と今の從業員の氣風とは餘程違つて來たことゝ思ひますが、これに就て御伺ひしたいと思ひます。ドウデス小松さん違つたでせうな

小松　いや違ひましたとも私は明治四十三年職工トライキのあつた分入りましたが、その當時とはマルで違ひます。第一祝儀、不祝儀の時服裝

等は特に違ひます。今では町場の人も適はない位ですが、その當時は銅山スッポに腹掛を着て土方の樣でした、今では立派なものです

小山田　酒等の呑み具合は餘程變つたでせうね。量は大分違ひますか？

小松　その當時は腹の中にドスを入れて居るのが普通で、毎日酒を呑んで毎公休日には斬つた斬られたの喧嘩でした。一度こんなことがありました。

小松　職工も坑夫も〆切が終ると飯場から米一俵を借られたものでそれを賣つて女遊びをしたりばくつて女遊びをしたりしたものです

先崎　その頃はメクリ（花遊び）の博打が流行し大したものだつた

小松　いや違ひましたとも私は明治四十三年職工トライキのあつた分入りましたが、その當時とはマルで違ひます。第一祝儀、不祝儀の時服裝

等は特に違ひます。今では町場の人も適はない位ですが、その當時は銅山スッポに腹掛を着て土方の樣でした、今では立派なものです

小山田　酒等の呑み具合は餘程變つたでせうね。量は大分違ひますか？

小松　その當時は腹の中にドスを入れて居るのが普通で、毎日酒を呑んで毎公休日には斬つた斬られたの喧嘩でした。一度こんなことがありました。

三坑の滑津の汽罐場の上で何でも無いのに追ひかけられホウ〳〵の體で逃げたことがありましたつけ

先崎　その頃はメクリ（花遊び）の博打が流行し大したものだつた

小松　職工も坑夫も〆切が終ると飯場から米一俵を借られたものでそれを賣つて女遊びをしたりばくつて女遊びをしたりしたものです

七月集

其一

相澤照子

六月下旬、陽一病む

○日の照れる街路に出でて病癒ゆる幼女の手を引き汗のつめたき

○

○朝早くアスファルト道一散り居るは椎の木の花ぬすみもちの花

○檜下に巣をいとなめる蜂居りて空梅雨の陽に疲れ吾が居り

○病癒ゆ一朝出で來し裏道一露草の花の藍溶くる如し

鍛冶屋の親子

下田惟直

鍛冶屋の親子は
とつちんかん
ほんにあつかろ
おもたかろ
ふいごの火のそば
鐵の鎚

鍛冶屋の親子は
あかい顏
ほんに火のやうに
燒けた顏
かほもからだも
汗だらけ

鍛冶屋の親子は
とつちんかん
ほんに火のこを
身に浴びて
夏のあつさも
なんのその

鍛冶屋の親子は
とつちんかん
ほんに夕陽の
照る店で
汗も涙も
乾くだろ

社會の今日

○

大瀧を仰ぐや木々の葉も暗く

松風

兒らをみな海にうつしてわが居れば、蜩の聲家をつゝめり

臼井大翼

△十返舍一九歿す（天保二）△米價暴騰富山縣に一揆起る（大正七）△梨本宮守正王殿下に元帥の稱號を賜ふ△武藤大將滿洲派遣特命全權大使に任せらる△持ちくづしたわけとは、われ國策研究クラブ、立黨準備協議會を開き、黨名をまが、さつとお助け下さるねえお嬢さまが、道樂でもして、かういふ稼業に身を

『國民同盟』とするに決定（昭和七）△故武藤元帥の准國葬、東京日比谷公園廣場で執行さる（同八）

講談

浪人長屋

（158）

日岐武志作
月草道子畫

身代金百兩

百兩の身代金——

ときいて、太七はぐつと腕をくんで、思案に落ちた

どうさかだちしたつて、百兩はおろか、五十兩だけでも見込がつかぬ

『かうなつたのも、不運なわたし、もうあきらめてゐます』

小菊は、しよんぼりと、うちしをれた

『弱氣を出しちやいけましにちがひねえ』

太七は、さう力づけるやうに慰めながらなほも、思案にふけつたが、急に

『さうだッ』

と、ポンと手をたゝいた

『お嬢さま、かうしちや、いかがでせう』

『どんなことなの』

『鐵之助さまか、鐵彌さまの行衛を探しあてさへすれば、百兩位の金はなんとかなるにちげえねえが、お二方をさがすのには、いますぐといふわけには行かず、まごまごしてゐる間に、お嬢さまが外へ鞍替へでもすることになると、身の借金が增すばかり、一日も早くなんとかしなけりやならねえ。それにはかうする外はねえと思ふのでやすが—』

太七は冷めた茶をグッとお嬢さまが江戸で大病にかゝりなされてゐる、とねかうなら、ようごせう』

『それで、若しも誰も心配してくれる者がなかつた時にはどうします』

『そんな不人情な奴はいねえ筈でさあ。若しも誰れもふり返つてもくれなきや田畑を賣つても百兩位の金は工面出來ねえことはねえですよ』

『……』

『さア、さうきめたからには、ぐづ〳〵出來ねえ、これからすぐ出立しやす』

太七はもう腰を浮かてゐた

『太七ほんとうに、それではすまないねえ』

『なんの、こんな時にいくらかでもご恩を返さにや返す時がねえや』

と、笑つて

『それではお嬢さま、おらが歸えつてくるまでの間、つらからうが辛棒してゐて下せえよ。きつと金は調達してきやす。もう心配することはねえです』

『それでは折角、たのみます道中氣をつけてね』

花菱家を立ち出でた太七は、すぐ馬喰町の旅籠屋へ戻つて急に旅仕度を調へ道を中仙道にとつて旅立つた

小麥增殖委員囑託

左記八十五氏は此程本年度小麥增殖實行委員を囑託された

（泉）志賀澤之介　三戸良治　吉田透（渡邊）安藤尾之吉　蛭田高知（植田）鈴木平次　古和口齊　古川權左工門　阿部福榮（山田）下山田丑藏　大河內邦藏　下山田一雄（錦）小野邊良助　小宅萬治　赤津彥夫　金成謙次（勿來）赤津榮助　酒井健一郎　加茂勳　小野幸一（上遠野）　生田目喜惣次　蛭田政雄　瀨谷健藏（入遠野）　圓通政善　鈴木精太郎　吉田孫次郎（川部）鈴木榮　蛭田光壽（田人組合）蛭田榮太郎　星春吉　小宅好文（飯野）山野邊喜一　小野義秋（夏井）箱崎義範　小林治右工門（高久）藥谷久太郎　箱崎半吾（豐間）鈴木猪之助　鈴木留吉（江名）丹野彥太郎

ラヂオ体操

參加延一萬五千人

他より好成績

ラヂオ体操の會五日の出席人員は

（第一會場）第一兒童六二三　第二同九七〇　その他學生三九　小兒二七　大人九一　その他一　合計一、七五二

（第三會場）兒童六八九　一般一六五　合計八五四

總計二、六〇六

六日は

（第一會場）第一兒童六四九　第二同一一六七　その他學生三五　小兒三二　大人一一〇　合計一、九九四

（第三會場）兒童六一二　一般一七三　合計八三五

總計二、八二九

第一校會場延人員九千六百八十八名、第三同上五千二百五十五名、合計一萬四千九百四十三名に上り人員に於て縣下各都市に比較し非常な好成績であるが一般人出席次の如く漸增を示しては居るが不成績であると

五日—二八四　六日—三一六

七日

日出　四、五三　月出前　一、三七
日没　六、四一　月没後　四、四八
滿潮前二、五五　千潮前九、四〇
後六、〇五　後一〇、一五

舊　火曜　新
六月　庚戌　八
十二月　友引　月
七　平　七
日　室宿　日

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神藏卯

▲一白の人　願望は思ひ通りに捗らず行き悩みの多き日▲二黑の人　こ息の手段は後日に大したのこすべし病注意▲三碧の人　心中大に動き迷ふ日住所の變動など慎べし▲四綠の人　獨斷を避け他の意見を容れて萬事に當れ▲五黃の人　進捗遲々たり共焦る事なく成行に任すが吉▲六白の人　進退共に機を捕ふる事敏なれば多幸なる日▲七赤の人　活氣充滿し希望の網も引締りて目前に迫る▲八白の人　表面順境の如く見ゆれども輕動は大敗の基▲九紫の人　希望に滿足なる結果を得べし但し金談は凶

新盆戒名入及岐阜提灯各種大勉强
提灯　角形　二、五〇ヨリ二〇、〇〇マデ
瓜形　一、八〇ヨリ　六、〇〇マデ
尙御好により値も品も色々に調製致します。御話下されば早速見本持參御伺致します。
平町四町目
スガノヤ提灯店
電話九五番

●新盆の戒名入提灯
例年の通り御安く御注文に應じます
弊店の提灯が……體裁が良くて値段の最も安い事は自分で一切の製造仕上げをする事と場所が不便の爲で有ります。
平町才槌小路（千葉辯護士前）
昭和九年八月
金子提灯店

吉田眼科病院
平町紺屋町電話六八番
醫學士　吉田久雄

產婦人科
花柳病科
井坂醫院
午前宅診
午後往診
入院應需
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

海の夏が訪れました
御家族樣連れの御散策にも急を要する御商用にも
是非尼子タクシーを御願致します。
平二　電六四〇番

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
電話大一番
本店　水戸線下館驛前（電話五五番）
支店所在地
茨城縣土浦町出宿（電話六五三）
常磐線關本驛前（電話八二四）
常磐線四倉驛前（電話平潟五四）
（電話四八）
◇海上給油及油槽所
久慈濱、大津、平潟
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、マシン油、モビール油、機械油類、胡麻、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ

吸入用酸素純度99.5%
モノサシ　マス　ハカリ
衡量度
計量器
體温器
寒暖計
關內藥局
電話四〇番
◎秤ノ取緒・垂・糸・錘ハ致シマス

月曜論壇

平商選手を迎ふ

吾等の平商野球部が修業五ケ年の甲種に昇格して縣大會に參加以來僅に三年。宛然旭日昇天の勢を以て夙くも地方豫選の爭覇場裡、馳騁するに至つた事は何と輝かしい異數の進出振りであらうか、而も矢野校長の誘掖指導宜しきに適して既に遺憾無き迄に實力を養成し、其の技術氣魄共に間然する處無く儼然として地方球界に君臨する眞に端倪すべからざる偉容は、母校を距る遙かに青葉城頭無盡の大圓劇場、熱烈火の如き多數ファン環視の下從來一個の無名戰士たりし平商と謂はんよりは寧ろ假令新興躍進の氣運に滿ちて居るとは謂へ之亦蕞爾たる一小都市に過ぎぬ平町の存在を如何に明確に認識せしめたか、蓋し其の收獲に優れるものあるを疑は無い、若夫れ福師との敗衄に至つては機の未だ熟せざるに齎納すべきのみ。斯くして平商野球選手を有する吾人郷黨の感激に戀へる琴線は滿幅の共鳴を以て搔き鳴らされては居らない、然り戰ひ終つて杜の都から歸つた愛人を迎ふる吾人平町民の情は絶讃の目に涙してより切實深刻なるものがある

大球場急の設要

來年度の中等學校野球東北豫選は本縣に於て行はるる事になつた、之につけても考へさせらるるのは近來一部識者間に論議せられつつある大運動場の設置問題である、殊に最近の縣下中等野球によつて之が急設の必要を痛感せしめられ該問題は今や研究の時代から既に實現の第一歩に入るべく切ば詰つた施設で、曩頃の縣大會から笠頭一歩を進めて更に東北豫選の會場を平陽の地に獲得せんとするが如き一見望蜀の念も甚しい樣であるが此の邊の觀點からするも亦曠に彌久を許さぬ現狀に置かれつつある、計劃の大なる丈けその間幾多の曲折を經ねばならぬであらうが此際町民一致の關心を拂つて欲しい

鳥人二勇士散華の地に『忠烈護空』を永久に記念

大角海相其他關係者多數參列して 來月廿四日盛大に除幕式

去る五月二十四日追濱より越されたので近く工事に着手し來月廿四日を卜し大角海相、碑面揮毫者加藤大將、遺族戰友其他東京横須賀方面の數十名が參列壯嚴なる除幕式を擧行する筈であるが、碑は高十尺幅三尺厚さ八寸の伽台石で台石とも地上より十四尺五寸、兩側に相應しい壯美なもので創設する貴族院議員園田武雄男爵の手により計劃中で各一機宛飛來之の擧に對する記念飛行をなす外海軍の『忠烈護空』の題字が見るに相應しい壯美なもので創設する貴族院議員園田武雄男爵の手により計劃中で各一機宛飛來之の擧に對する記念飛行をなす外海軍の『忠烈護空』の題字が見るに相應しい壯美なもので創設する貴族院議員園田武雄男爵の手により計劃中で各一機宛飛來之の擧に對する記念飛行をなす外海軍の『忠烈護空』の題字が見

札幌へ向け飛行の途中同日午前十時半頃折柄艦上點呼の爲軍艦木曾の碇泊せる小名濱上空を掠め江名町大字永崎字猫磯地先に於て墜落し、其の技術氣魄共に間然する處無く儼然として地方球界に君臨する眞に端倪すべからざる偉容は、母校を距る遙かに青葉城頭無盡の大圓劇場、熱烈火の如き多數ファン環視の下從來一個の無名戰士たりし平商と謂はんよりは寧ろ假令新興躍進の氣運に滿ちて居るとは謂へ之亦蕞爾たる一小都市に過ぎぬ平町の存在を如何に明確に認識せしめたか、蓋し其の收獲に優れるものあるを疑は無い、若夫れ福師との敗衄に至つては機の未だ熟せざるに齎納すべきのみ。斯くして平商野球選手を有する吾人郷黨の感激に戀へる琴線は滿幅の共鳴を以て搔き鳴らされては居らない、然り戰ひ終つて杜の都から歸つた愛人を迎ふる吾人平町民の情は絶讃の目に涙してより切實深刻なるものがある

四百の勞働者が晝夜兼行の作業

中の作築港工事賑ふ

七八年兩年度に於て十五萬圓、今年度七萬五千圓、合計二十二萬五千圓の大工事なる江名町中の作漁港修築工事は目下男女二百名宛晝夜交代で港内一萬五千坪中深場となる六千坪の掘採浚渫場附近は非常な賑

ひを見せ隨つて永崎、神白方面の小農迄霑ふ處莫大なものあるが右完成後は地元漁業避難其他海上罹災の匡救及天然資源の開發等因て生ずる利便絶大なものあるべしと期待されてゐる

飯米無利子貸付

三百俵の拂下げを受け 玉川全村を潤す

玉川村では昨年の旱魃年植付け不能に陷つた水田が七十三町餘あつた關係から現在飯米に窮するものが百四十七戸の多きに及んで居るので政府米を拂下げ今秋の收穫季迄無利子で貸付けるべく過般來當局に申請手續き中の處去る二十五日付申込全額の二百九十二俵拂下げの指令あり來る九日着荷するので近く村會を開きこれが分配を協議するが一俵八圓七十五錢、此金額運賃共二千六百圓中二千圓を一時小學校基本金中より流用多百圓は野崎村長が無利子で立換える事になつたが飯米窮乏のうちに薩盆を迎へる村民は何れもこの安價な拂下げ米を喜んで居ると

傳貧馬續發

昨日二頭を撲殺

石城產馬畜產組合では引續き今井技手により傳貧馬檢診中昨五日左記眞症二頭を發見撲殺した

永戸村上永井仲居保雄所有牝馬、貝泊村字戸草芳賀寅吉同

勝地に一竿の風月を娯む

昨鮒釣り會入賞者

河北新報平支局主催鮒釣り大會は昨五日仁井田浦で開催されたが參加以來僅に三年。

古典的な仕料に滿堂の觀衆醉ふ

和泉流宗家の能狂言盛況

簡閲點呼注意事項

平町の今年度簡閲點呼は既報の如く來る九日午前六時半第一校庭集合同七時半より大井川配屬將校指揮の下に行はれるが從來遺憾の點ないではなかつた服裝の統一を圖るため今年度よりは洋服のものはゲートル、和服者は草履を必ず使用せられたいと

屋鍵吉2丸山隆市3白土喜伯4科山秀雄5吉田豊6須藤鶴之助7新妻豐吉

平第一校 臨海學校通信 (四倉より)

八月三日 (金)

愉快な朝飯前の散歩

起床！起床！、例によつて午前五時一齊に起床、蚊帳のたゝみ方もスツカリ一人前。赤褌に赤帽、シャツといふ輕い仕度で直ちに校庭集合。海岸迄一走り。曇つては居るが氣持ちのよい大海原に向ひながらラヂオ體操一回、渚を散歩。磯でヤー出たナ、愉快々々』直小蟹やヒトデをとつたり、イソギンチャクをつゝいたり して愉快に朝飯前の時間を過しました。ですから御飯のおいしかつたこと〳〵。傳達は今迄こんなおいしく朝の御飯を頂戴したことはありませんでした

午睡を破る喜びの聲

出た！出た！『オーイ起きろヨーッ、お日樣が顏を見せたゾーッ』晝寢の夢を破る喜びの聲『ドレ〳〵、ちに水泳の用意、校庭集合。整列、各班の員數報告後、代り午後七時から茶話會が

(3)

(4)

八月四日 (土)

試膽會變更の茶話會

昨夜は午後八時から試膽會を行ふ豫定であつたが、あいにくの雨で中止となつた。殘念の極みです、そのかは昨五日仁井田浦で開

大會は昨五日仁井田浦で開

世相萬華鏡

主人喰ひの惡店員控訴

去月三十一日(三八)は多賀郡松原町字北町宿料踏み捕はる。二本松町字根崎割烹業佐藤末藏(四四)は昨五日午前八時頃落磐死傷。內郷村大字綴字町の內七後山夫根本丑之助(四四)は昨五日午前八時頃ヨロケ病者終焉。川部村大字小川越川清藏方奈良金次郎(四三)は三十年の長い坑夫生活から俗に謂ふ『炭鑛ヨロケ病』にかゝり治療中昨五日死亡したが引取人がないので村役場で假埋葬に附した

た披露目 品澤から出た『文若』二十三歳と云ふ小つ澁いところ、前住地は磯島市とある

河童男が不覺の溺死

豐間防波堤附近で 今夏最初の犧牲者

豐間村大字豐間字八幡町三豐間樂港人夫遠藤伊之吉(二七)は一昨四日午前十一時頃同村船着樂港防波堤附近で水泳中心臟痲痺を起し溺死した、同人は多少精神に異狀を呈してゐたものらしく水泳の達人であつたので同僚も氣にとめなかつたものであるど

六乘客を傷けた過失運轉手に百圓

平區から略式命令

赤井村大字赤井字比良四六自動車運轉手海野太平(三三)は六月六日午後三時五十分頃赤井村平野ナカ外五名を乘せたフォード車を運轉、平町から赤井へ時速約十八哩で進行中好間村大字愛谷地內鐵道踏切で折柄進行中の平下り列車に衝突六乘客に重輕傷を負はし業務上過失傷害で此程中區より略式により罰金百圓に處された

情け無い街の紳士

カフエー荒し二人組檢擧

當時住所不定無職栃木縣下錢分を無錢飲食後寺內は用津賀郡欠上村生れ寺內藏作便を裝ひ逃走したが南町理髮業大谷某に捕はれ連れ戻生れ無職田中芳郎(四三)の兩名は一昨四日午後十一時頃て暴行中を平署高松巡査に平町三丁目カフエー白木事捕はれた武田キチ方に登樓二圓三十

目ド斯うした方法で最善の努力を拂つて居る云々

秘藏映畫『世界大戰を語る』

負傷者二千萬人、戰費四千億弗

と註せらるる歐洲大戰に關する參戰各國の秘藏映畫『世界大戰を語る』日本語版は來八、九兩日世界館に於て上映するが四王天幾備陸軍中將、小林同大佐指導並に講演のトーキーと云ふ處で時節柄一般の關心を陵つてゐる

久し振りの晴れに昨日曜各濱賑ふ

但し鐵道は依然閑散

愚圖つき乍らも兎に角晴れた昨五日永らく海に憧れても計約三百名の閑散ぶりで居た人達は一時にどつと押寄せて四倉、小名濱共に前日曜の丑の日以上の人出でで、四倉一萬五千、小名濱も亦一萬以上、砂濱に水中にあるはまこと奇蹟と言はねばならぬの聲があつた、加が平驛よりの四倉行は大四四四名、小一二六名、今六日

鐵道撞球入賞者 平鐵道倶樂部昨五日の撞球大會入賞者左の如し

一等中根秀四郎、二等猪狩觀德、三等橋(保線)、四等高橋(機關)、五等永沼元吉各氏

之の暑さに大火鉢

空氣濕潤から電話機故障 平交換局內珍風景

漸く『夏遠る』の形、屋內ぎ、これは約一ケ月に亘るにちつとしてるのが苦しい不順な天候が齎した濕氣に通ひの乘合自動車は何れより屢々機械に故障を生じ通話を求むる信號標示ランプが點かぬ事あるので之が故障を除く空氣の乾燥上五六日前より行つて居るが右に就いて戶石局長は語る

加入者から苦情が屢々來たので初めて知つた譯で

球信

平遞友は一昨四日午後四時より平商球場で御厩青年團チームに球大會へ備へるため今六日午後三時より平商球場で同チームと對戰するど

十六對十三で、昨五日午後三時より同球場で古鍛治青年團チームに九對零で何れも捷つ、尙營林署では九月中旬の落通り營林署對抗野球大會へ備へるため今六日午後三時より平商球場で同チームと對戰するど

夜診 胃腸病 性病 專門 內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科 松村病院 (平町南町電一〇七番)

內科一般 川井安子 川井內科診療所 平町南町六五(舊居) 電話二四三番

難波醫院 內科 小兒科 入院應需 自炊の便あり 平町大町 電話五〇二番 醫學博士 難波睦

診療科目 開業 一、齒科一般 保存科、補綴科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科 一、口腔外科 一、レントゲン科 中野齒科醫院 院長 日本齒科醫學士 中野惠次 日本齒科醫學士 西川誠 平町田町(松月堂向ヒ)電話五〇九番

耳鼻咽喉科專門 平町南町一六番地 大和田醫院 電一七〇番 (入院隨意 病室完備)

內外 建築材 建具材 磐城國平町(公園下) 阿部材木店 阿部好利 電話四九四番

前田醫院 院長 前田清美 植田町電話一二四